

下北沢迷宮散策

時折、不意に下北沢を歩きたくなる。迷路状の道に、いつも若い人たちがあふれている雰囲気が入っているのだ。この駅に降りると、まず決まって立ち寄るのが北口の線路端に建ち並ぶ下北沢駅前市場の一角。ヤミ市の名残のようなマーケットが、仄暗い通路づたいに続いている。落花生やアラレを古い木箱で並べ売りする菓子屋、炉端にサンダルや長靴

を陳列した履物屋、リーバイスなんかのジーンズを売る輸入衣料店……もう三十年も前になる学生のころ、この一角に「るーふ」という輸入ジーンズの名店があった、それを目当てにやってきたのが、僕の「下北デビュー」だった……。駅前再開発の話がもちあがっているというが、観光者のスタンスでいえば、こういう昔ながらの場所は「ヨーロッパの旧市街」のような感じで残して欲しいものだ。踏切を渡って南口の方へ向かう。やがて本多劇場の前に差しか

かった。ここは80年代のころから、しばしば若い劇団の公演（「第三舞台」や「大人計画」……）を眺めにきている場所だが、今回の目的は場内ではない。劇場の地下駐車場に飾られているという有名スターの手形。石版に刻まれたその手形は、ただの手形ではない。僕が若いころまで青山通りにあった「ユアーズ」（1964年開店）というシャレたスーパーマーケットの玄関口に掲げられていたものなのだ。関係者の縁で、昨夏からここに移設されたいらしい。

王貞治、三船敏郎、星由里子……小さな中村勘九郎の手形はいまの勘三郎の子ども時代のものに違いない。そんな懐かしい手形レリーフを眺めて、再び町へ出た。気ままに歩いていこううちに道に迷った。何度来ても、いっしょか方向感覚を失う。これこそ下北沢の散策の醍醐味なのである。



本多劇場地下に飾られた有名人の手形。
撮影/泉麻人